

Racing Development

**TRD**

NEW STYLE ONE MAKE RALLY

*Vitz challenge*Round.4  
in  
京都

24 Aug. 2008

**DUNLOP**AKG  
akashic group**WAKO'S****KYB****Kosei****ARUZE**TANIDA  
MOTOR SPORTS**PHILIPS****Santsusho****G-SHOCK****KTC****ECLIPSE**

洗剤革命

**PATLITE**

Racing Development

**TRD***Factory*

Racing Development

**TRD****TOYOTA**シーズン折り返しの京都ラウンド  
精鋭のヴィッツチャレンジャー37台が  
アツい戦いを繰りひろげる!

2008年8月24日(日)、TRDヴィッツチャレンジのラウンドとして、昨年から5年ぶりに復活した『Round 4 in 京都』。今年は真夏の8月に時期を移しての開催となった。

会場となる京都府南丹市美山町は、京都市内から北へ約30キロほどに位置するまさに京都の奥座敷といったエリア。名所となっている合掌造りの集落と、のどかな田園風景を観光しようと、ツーリング仲間や家族などで当日も大勢の観光客で賑わっていた。

真夏の京都の猛暑が予想されたが、幸いにして『曇り時々雨』という天候にも助けられ、過ごしやすい気候の中でヴィッツチャレンジシーズン夏の陣がスタートした。

**TRD Vitzchallenge**  
2008 Rd.4 in KYOTO  
**Event data**

- 主催 マッコーレ ラリー スピリッツ (MUCCORE)
- 開催日 2008年8月24日(日)
- 開催エリア 京都府内
- スタート会場 美山自然文化村
- サービスパーク コスモスパーク
- ゴール会場 美山自然文化村
- セクション数 2
- SS本数 7本
- SSトータル距離 11.97km
- 総走行距離 約150km
- 参加台数 37台  
Class 1 9台  
Class 2 4台  
Class 3 11台  
Class 4 13台
- 完走台数 36台(不出走0台)
- 取材媒体

株式会社 ニュース出版  
WRC PLUS 2008 (モータースポーツ誌)



## いよいよスタート!

今回のラリーコースは、ターマックスステージ(林道)2本、グラベルステージ(ダートラ場)1本を使用。午前5SSをこなし、サービスを経て、午後2SSの全7SSで行われた。

ターマックス中心とした設定となった本ラウンドでは、最長SSとなる2.4キロのターマックスステージで、いかにタイムを稼げるかが鍵となったようだ。また、唯一のグラベルステージは全日本ダートトライアル選手権も開催される硬質ダートの「コスモスパーク」。レキでは慎重に路面をチェックしコース攻略を行う「ダートラ場」の走り方をつかんできた選手たちの姿も印象的であった。



シリーズ最西端ということで、例年のごとく他のラウンドに比べ少ない出場台数ではあるが、入門ラリーとはいえ、500キロ以上の距離を自走して出場する初心者の選手も多く、TRD ヴィッツチャレンジの人気を垣間見ることができる。

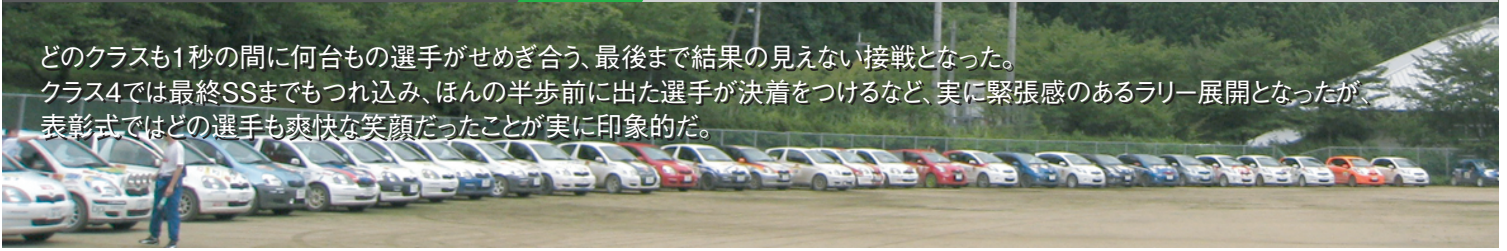
大会スポンサー「和光ケミカル」の関氏が大大会ドライバーとしてクラス2に出場。コ・ドライバーはTRDの山口氏が務めた。





# 表彰式

どのクラスも1秒の間に何台もの選手がせめぎ合う、最後まで結果の見えない接戦となった。クラス4では最終SSまでもつれ込み、ほんの半歩前に出た選手が決着をつけるなど、実に緊張感のあるラリー展開となったが、表彰式ではどの選手も爽やかな笑顔だったことが実に印象的だ。



## Class 1

1500ccオープンクラス



## Class 2

1500ccチャレンジクラス



## Class 3

1000ccオープンクラス



## Class 4

1000ccチャレンジクラス



## Wako's 賞

特別賞



## Kosei 賞

特別賞



次戦「Rd.5 in 群馬」は、9月28日(日) 群馬県 北軽井沢周辺で開催いたします。